

8-5-4 テクリス専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会開催

専門委員会開催：5回

(2) 活動の目的

公共事業の発注に大きな役割を果たすようになったテクリスに関する(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)への業界窓口を担当する。

テクリスの透明性、公正性を向上し、活用の場を拡大させるための意見交換の場とする。

(3) 主な内容

a) コリンズ・テクリスシステムへの対応

令和6年9月2日に一部システム改良が実施されたため、JACICへ改良内容の照会を行った。

JACICからの依頼により、令和6年8月21日にコリンズ・テクリス登録内容確認システムに関するヒアリングがあり、委員会メンバー企業の実務担当者を含め、現状の対応について意見交換を行った。

b) コリンズ・テクリス利用者会議への対応

令和6年9月5日に、JACIC主催のコリンズ・テクリス利用者会議の資料となるアンケートについて、事前説明頂いた。設問内容を確認し、機能改良等に関する各委員所属企業の意見を取り纏め、アンケート回答例を作成した。会員企業へアンケート回答の協力依頼を周知するとともに、アンケート回答例を参考として配布した。

令和6年12月5日、コリンズ・テクリス利用者会議に出席し、コリンズ・テクリスシステムに関する対応等について確認を行った。テクリス専門委員会委員の意見を取り纏め、JACICへテクリス登録システム等に関する改良要望として伝えた。また、発注機関およびJACICへ引き続き意見交換の実施を要望し回答を頂いた。

c) その他

令和6年9月～10月に委員会メンバー企業

に対し業務キーワードの追加要望について意見収集(アンケート調査)を行い、収集結果をもとにJACICへの追加要望について検討した。

2. 次年度の活動について

今後のコリンズ・テクリスシステムの部分機能改良について、都度、JACICへ状況等の確認を行い、会員企業に情報提供を行う。

令和5年度システムリプレースにともなうシステム改良、令和6年度の部分改良を踏まえ、今後の機能改良に関する要望等について、JACICとの意見交換を実施する。

その他、コリンズ・テクリス登録システムの提供元であるJACICとの意見交換を継続的に実施し、得られた情報については速やかに会員企業に提供する。

引き続き、テクリス登録データを活用したシステム等の動向の情報収集を行い必要に応じ会員企業への周知を行う。また、電子入札、電子契約等についても、テクリスとの連携に関する動向について継続して注視していく。

(テクリス専門委員会委員長 佐藤 美緒)